



自主・誠意・友愛

学校だより 令和4年12月19日
R4第8号 倉敷市立福田中学校



12月7日大雪(たいせつ)を迎え、令和4年も残すところあと10日余りとなりました。朝夕に吐く息も白く、特に先週あたりから本格的な冬の訪れが感じられます。

今年も新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、例年通りに行事等を行うことができませんでした。しかし、終業式まであと5日ですが、皆様のお力添えにより、生徒はそれぞれ「実りの秋」を経て、2学期を無事締めくくることができそうです。保護者や地域の皆様の日頃からの温かいご理解とご協力に感謝申し上げます

年の瀬を迎え、ますます慌ただしくなりますが、**健康に留意され、ご家族揃ってよいお年をお迎えください。**

☆人権週間(12/5~12)で人権について考えました!

昭和23年12月10日、第3回国際連合総会で「世界人権宣言」が採択され、これを記念して採択日の12月10日を「世界人権デー」と定め、取組を行っています。

本校でも、12月5日(月)から12日(月)の1週間を校内人権週間とし、昨年度から朝読書の時間、読み聞かせボランティアの方に、様々な人権問題に関する読み物資料を読んでいただいています。また、道徳、学級活動の時間等を活用し、「人権」について考えたり、学んだりしました。人権標語を教室校内に掲示し、図書館には「人権コーナー」を設け、関連した絵本や本、記事を紹介したり、掲示板での啓発活動を行っていたりします。**女性、子ども、高齢者、障がいがある人への差別、同和問題、LGBTQ など様々な人権問題に対して、正しい認識を深めるとともに、人権問題を自分事として考える機会になればと思います。お家でも話題にさせていただけると有り難いです。**

～ 「多様な性の在り方について」の授業を終えて ～

否定されたらどうしようという不安をもっているけど、本当は誰かに相談したいと思っているのが分かった。一人で考えている人は、大きな不安を抱えて先のことを考えると絶望しているので、どんな接し方ができるかをきちんと考えるべきだと思った。レスビアンやゲイだからと言って普通じゃないと決めつけるのはそれぞれ人の普通は違うので自分が正解だと思うことをすればいいし、それはおかしいことではない。自分の恋愛対象が他の人と違って自信を失くすことはない、胸を張って言うことはすごいと思った。だから、友達がレスビアンでもバイセクシャルでもその子はその子だから「気持ち悪い」とか「友達じゃない」と思うのは違うと感じた。相談してくれた人はとても勇気をもってしてきたことを忘れてはならない。自分と同じでなければ普通ではないという誤った考えを変えていくべきだと初めて思った。(3年)



☆第2回福田中学校区基礎・基本力コンクールを実施しました!

昨年度より小中連携の取組として、第二福田小・第四福田小の第5・6学年、福田中の第1・2学年で共通算数テストを実施しました。**総合第1位に2年4組、満点賞の110名**には賞状を渡します。よく頑張りました! 2月には、漢字テストを実施する予定です。

☆第1学年 キャリア教育を進めています!



11月11日(金)5、6校時に「職業人に学ぶ会」を行いました。地域から6つの職業7名の講師をお招きし、それぞれの職業に必要な資格、やりがい、仕事をする上で大切なこと等のお話を聞かせていただきました。

メモを取りながら真剣に話を聞いている生徒たちの目の輝きが印象的でした。その後に作成した職業新聞はそれぞれが工夫を凝らし、個性あふれる力作揃いでした。

次に昨年度に引き続き、12月12日(月)6校時には、福田中学校出身のプロバスケットボール「トライフープ岡山」(バスケB3)の岡田陸人選手と岩松永太郎選手に、GM補佐の吉田大貴様からの質問形式の講演会がありました。中学校の時に頑張っていたこと、目標に向かって努力することの意味等のお話もあり、質疑応答では次々に挙手し、最後に記念撮影、放課後バスケットボール部の指導と充実した時間を過ごしました。岡田選手からは「B3からB2に昇格することを目標に一生懸命に頑張るので、目標を見つけて努力してほしい」岩松選手からは「強い意志をもってやり続ける」とのメッセージがありました。

☆第2学年「企業学び学舎」&「神戸研修」で学びました!

12月2日(金)5、6校時、第2学年は8つの企業、約30名の方を講師にお招きし、講話&実習体験を行いました。どの講座も講話や体験をする生徒たちは、集中し真剣そのもの。働くことのやりがいとともに、苦労や大変さも感じたようです。

また、12月9日(金)には、減災学習の締めくくりとして、1学期から延期になっていた神戸研修に行きました。第2学年は、初めて県外へのバスによる研修でしたが、事前指導では実行委員がパワーポイントを使い、研修の目的や守るべきルールやマナー等を説明し、「減らそう!被害。学ぼう!減災!」のスローガンの下、**みんなで協力して実りのある研修にしましょう!**と呼び掛けました。当日は天候にも恵まれ、行きのバスで「神戸新聞の7日間」のDVD視聴により、学ぶ姿勢となり、人と防災未来センターと北淡震災記念公園では、実際の映像や実体験に基づく講話、野島断層等を目の当たりにし、震災の恐ろしさや普段からの備え等多くのことを学びました。**呼び掛け通り一人ひとりがルールやマナーを守り、次の立止式や修学旅行につながる行事となりました。**保護者の皆様には、送迎や準備等で大変お世話になり、ありがとうございました。



☆大江佑弥選手への募金(22,000円)、ありがとうございました。

大変遅くなりましたが、1学期末にご協力をお願いしていたパラアスリート大江選手への募金を11月末に事務局にやっと届けることができました。ご協力、ありがとうございました。引き続き大江選手の応援をよろしく願いいたします。